

BioJapan 2009

World Business Forum

今年のバイオジャパン

バイオジャパン 2009 のキャッチコピーは「バイオ再生元年—新たな飛翔をはじめたバイオ産業」。

「健康」「環境」「食糧」「クラスター&バイオベンチャー」がメインテーマです。

セミナー会場と展示会場が隣接し、来場者、出展者にとってさらに便利に、機能的になりました。

会 期 2009年10月7日(水)～9日(金)10:00～17:00

会 場 パシフィコ横浜 展示会場 C・D, アネックスホール

主 催 バイオジャパン組織委員会

((財)バイオインダストリー協会、(財)ヒューマンサイエンス振興財団、(社)農林水産先端技術産業振興センター、(社)バイオ産業情報化コンソーシアム、日本バイオ産業人会議、日本製薬工業協会、NPO 法人近畿バイオインダストリー振興会議)

日経 BP 社

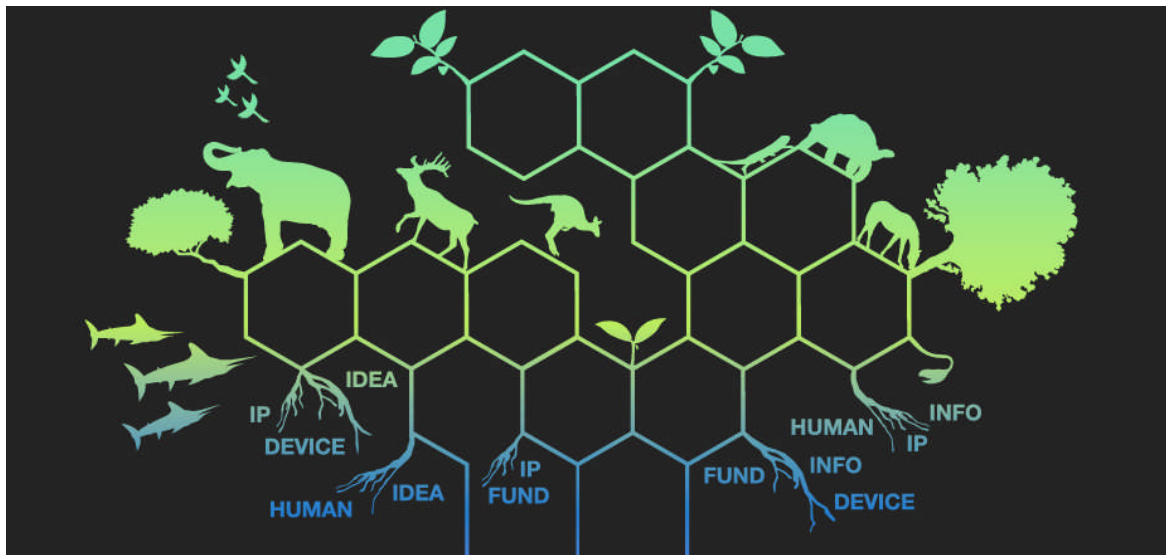
特別協賛 横浜市

特別後援 神奈川県

後 援 内閣府、外務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、環境省 他

参加登録 公式HPより事前登録していただきますと、セミナー、展示会共に**無料**でご参加いただけます。セミナーは定員がございますので、お早めにご登録ください。

<http://expo.nikkeibp.co.jp/biojapan/>



基調講演・4大サミット

バイोजパン 2009 のメインテーマは「健康」「環境」「食糧」「クラスター&バイオベンチャー」。
国内外のトップ3名を基調講演にお招きし、ライフサイエンス全般、健康、環境/食糧に関してご講演いただきます。

また、メインテーマに沿った4大サミットを連日開催いたします。

参加費はいずれも無料。いますぐ以下の URL にアクセスし、ご登録ください。

<http://expo.nikkeibp.co.jp/biojapan/seminar/index.html>

基 調 講 演

10月7日(水)10:00~11:30 アネックスホール F-203・204・205・206

本席 佐(内閣府総合科学技術会議議員)

「我が国のライフサイエンス政策の展開」

James C. Borel(米国デュポン社 農業・食品関連事業部 上席副社長)

「バイオテクノロジーによるデュポン社の成長戦略」

Joerg Reinhardt(Novartis International AG COO)

「ノバルティス成功の秘訣(イノベーション&アライアンス戦略)」

食糧サミット「バイオによる食糧問題の革新」

10月7日(水)14:30~16:30 展示会場内特設会場

モデレータ: 田部井 豊(独立行政法人農業生物資源研究所遺伝子組換え研究推進室長)

Randy A. Hautea(ISAAA グローバルコーディネータ)

「Biotech 作物による食糧生産の現状と将来~世界の人口増と飢餓・食糧不足解決のために~」

横田 敏恭(農林水産省農林生産技術会議技術政策課長)

「先端技術を用いた食料生産技術革新と課題解決に向けて」

廣近 洋彦(独立行政法人農業生物資源研究所基盤領域研究長)

「先端技術を用いた食糧・機能性食品・飼料の開発と展望」

手島 玲子(国立医薬品食品衛生研究所代謝生化学部代謝生化学部長)

「バイオによる食糧問題の革新先端技術を用いた GMO 作物・食品等の安全性評価と受容性」

ファーマサミット「注目される医薬品新興国市場」

10月8日(木)10:15~12:00 展示会場内特設会場

モデレータ: 竹中登一(アステラス製薬株)代表取締役会長)

三好 昌武(アイ・エム・エス・ジャパン株)コーポレート・リレーション&マーケティング・コミュニケーション室シニアアドバイザー)

「拡大する Pharmedging Market の魅力」

石井 康雄(アステラス製薬株)代表取締役副社長)

「欧州新興国戦略の現状とその課題」

中山 譲治(第一三共株)海外管理部部長)

「タイトル調整中」

浜本 光生(大塚製薬株) 常務執行役員)

「アジア医薬品開発 —中国・韓国を中心に—」

グリーン“環境”バイオサミット

「バイオリファイナリーサミット Sustainable biomass からのエネルギー・化学品生産」

10月8日(水)14:30~16:30 展示会場内特設会場

モデレータ: 湯川英明((財)地球環境産業技術研究機構バイオ研究グループ理事/グループリーダー)

小林 喜光(三菱化学株)代表取締役社長)

「持続可能な社会の構築に向けた化学産業の役割」

Volkert Claassen

(DSM White Biotechnology B.V. DSM Innovation Center Vice President White Biotechnology)

「At the crossroads of a new era」

ステーション・リスゴー(ノボザイムズ社)代表取締役社長 兼 CEO)

「Let's build a new and more sustainable economy」

大宮 秀一(出光興産株)取締役副社長)

「日本におけるバイオ燃料の位置づけ」

クラスター&ベンチャーサミット「バイオクラスター —現状と次の一手—」

10月9日(金)10:15~12:00 展示会場内特設会場

モデレータ: 近藤正幸(横浜国立大学ベンチャービジネス・ラボラトリー所長)

Boylard Frank(スコットランド国際開発庁 アジア駐在代表)

「分権政府—スコットランドのバイオクラスター戦略」

Chris Ilsley(East of England International Biotech & Pharmaceutical Sector Regional International Trade Adviser)

「ケンブリッジバイオクラスターの歴史と未来」

Nicolas CARBONI(Alsace Biovalley General Manager)

「ダイナミックに発展しているアルザスバイオバレークラスターの紹介」

手代木 功(大阪医薬品協会会長、塩野義製薬株)代表取締役社長、大阪バイオ応援団団長)

「~世界トップクラスを目指す~ 「大阪バイオ戦略」

その他のセミナー

主催者セミナーでは、iPS細胞、抗体医薬、RNAi、ワクチンといった医療系のセッションをはじめ、医療機器、グリーンバイオ、機能性食品、クラスター等、多様なテーマの充実したセッションを企画しました。また、出展者セミナーも、メインテーマと連動した内容を多数ご用意しています。

セミナースケジュールの確認、事前登録についてはこちらからどうぞ！

<http://expo.nikkeibp.co.jp/biojapan/seminar/index.html>

◆サプライズ企画決定！

10月9日(金)14:30～16:30(展示会場内特設会場)

『**新政権の生命科学・バイオ産業振興戦略を問う**』… 対談形式のセミナーです。

モデレータ：日経BP社 医療局主任編集委員 宮田 満 氏

講師：文部科学副大臣 鈴木 寛 氏

大阪大学大学院医学系研究科臨床遺伝子治療学教授/アンジェス MG 取締役) 森下 竜一 氏
(株)ヒューマン・キャピタル・マネジメント代表取締役社長/(株)イーベック代表取締役社長 土井 尚人 氏
バイオフィロンティアパートナーズ代表取締役社長 大滝 義博 氏

<抜粋>

◆健康(医療, 医薬, 医療機器)関係

○先端医療機器メーカーは何を求めるのか？医療機器の最先端と次のニーズ

10/8(木)10:00～11:30(アネックスホール F-202)

○ONEDO 橋渡し研究:新たな医療技術・システムの実現を目指して(再生医療分野、治療機器分野)

10/8(木)13:30～14:30(アネックスホール F-201)

○ONEDO 橋渡し研究:新たな医療技術・システムの実現を目指して(創薬・診断分野)

10/9(金)10:00～11:00(アネックスホール F-201)

○バイオ医薬、次の一手抗体医薬、RNAi、ワクチン

10/9(金)10:00～11:30(アネックスホール F-205/206)

○理化学研究所 創薬関連基盤の提供について

10/9(金)13:30～14:30(アネックスホール F-203/204)



最終日は、iPS細胞に関する話題が満載です！

○iPS細胞アップデート –iPS細胞の可能性と課題

10/9(金)9:30～11:30(アネックスホール F-203/204)

○オンタリオ州 iPS細胞に対する日本とオンタリオ州の国際的な取り組み

10/9(金)12:00～13:00(アネックスホール F-205/206)

○iPS細胞産業化の課題 –生命倫理、標準化の観点から

10/9(金)15:00～16:30(アネックスホール F-201)

◆環境(バイオリファイナリー/バイオマスプラスチック)関係

○NEDO 微生物によるものづくりバイオ(バイオプロセス)の飛躍に向けて

10/7(水)13:30~14:30(アネックスホール F-201)

○バイオマスプラスチックの技術突破

10/8(木)10:00~11:30(アネックスホール F-201)

◆食糧(機能性食品, GMO)関係

○機能性食品プラットフォーム創製に向けて「医師が認める機能性バイオマーカーの構築」

10/8(木)15:00~16:30(アネックスホール F-203/204)

○日本における遺伝子組換え技術産業化の方向性

10/9(金)10:00~11:30(アネックスホール F-202)

◆クラスター&バイオベンチャー関係

○ビッグファーマはベンチャーに何を求めるか?オープンイノベーションの実践状況は?

10/7(水)15:00~16:30(アネックスホール F-205/206)

○わが国のバイオクラスター政策の今後

10/8(木)10:00~11:30(アネックスホール F-202)

○フランス大使館 フランスのバイオクラスター

10/8(木)9:30~12:30(アネックスホール F-205/206)

○ベルギー・フランダース政府貿易投資局

ベルギー・フランダースー世界的バイオクラスターによる成長とイノベーション

10/8(木)13:00~16:00(アネックスホール F-202)

○JETRO ベンチャーのエグジットを成功に導く資金調達ベストプラクティス

10/8(木)13:30~14:30(アネックスホール F-203/204)

○バイオベンチャーと大手製薬とのアライアンスの秘訣

10/8(木)15:00~16:30(アネックスホール F-201)

○姿を現したバイオベンチャー市場

10/9(金)15:00~16:30(アネックスホール F-205/206)

ビジネスマッチングの強化・推進

昨年度、日本製薬工業協会傘下の多くの製薬企業の方々にアライアンスブースを出展していただいたことが契機となり、ビジネスマッチング数が前年比2倍(公式発表数 859 件)に増加しました。

バイोजパン 2009 では、マッチングの範囲を医薬だけでなく医療機器、機能的食品、バイオマスプラスチック等にも広げ、本格的なアライアンスブースを設置しました。

国内外から集まったバイオ関係者のネットワークを通して、技術導入、共同開発、共同研究、投資等を生むバイオ事業のチャンスを掴む場として、バイोजパン2009を大いに活用ください。

アライアンスブースによる本格的ビジネスマッチングの推進

Web 上でのビジネスマッチングシステム※による会期中の商談アポイントの申し込みを受け付けております。

面談調整中でなかなかアポイントが取れない場合もございますが、会期中は展示会場にライセンス担当者が常駐し、商談をお受けいたしますので、お気軽に展示場内のブースにお出掛け下さい。

みなさまのお越しを歓迎しております。

<アライアンスブース設置およびアライアンス主目的で出展する企業>

旭硝子、味の素、アステラス製薬、ウシオ電機、エーザイ、花王、カネカ、協和発酵キリン、サッポロビール、サノフィ・アベンティス、サンド、サントリー、GEヘルスケア バイオサイエンス、ジェンザイム、塩野義製薬、ジョンソンエンドジョンソン、第一三共、大日本住友製薬、タカラバイオ、武田薬品工業、田辺三菱製薬、中外製薬、テルモ、デュポン、東レ、日本たばこ産業、日本メトロニック、ノバルティスファーマ、万有製薬、明治製菓、ヤンセンファーマ、ロシュファーマ



ビジネスパートナーシッププレゼンテーション

本年は展示会場内 2トラックで実施します。展示会場内にプレゼン会場を設けることにより、ブース展示とプレゼンのより密接な連動が可能となりました。

また、1トラックを利用して、全国の経済産業省産業クラスタープロジェクトとの連携により、アライアンスプロモーション in BioJapan 2009 を開催いたします。

全国から集まった創薬系、創薬支援系、医療系の有力バイオベンチャー企業が、展示会場内に特設された専用コーナーで3日間にわたる熱気あるプレゼンテーションを展開いたします。

会場 展示ホール特設会場

日時 2009年10月7日(水)～9日(金) 10:30(アライアンスプロモーションは11:00)～16:50

アカデミックシーズ発表会

国内有力ベンチャー・大学 TLO のプレゼンテーションの他、卓越した大学の技術シーズを基礎に産学協同研究および技術移転の加速をはかるべく、アカデミックシーズ発表会も、新企画として加わりました。東京大学、慶応義塾大学、東京工業大学、理化学研究所の主要研究者が登壇し、最新の研究成果(医療・医薬、機能的食品等)を発表します。

会場 展示ホール内特設会場

日時 2009年10月8日(木)～9日(金) 11:00～16:50

※誰でも無料でご利用できるビジネスマッチングシステムはこちらからどうぞ！

<https://exponet.nikkeibp.co.jp/match2009/>

その他のイベント

バイオインダストリー協会三合同授与式・発表会



主催 (財)バイオインダストリー協会
日時 10月7日(水)15:00~17:00
会場 パシフィコ横浜 展示場 C, D内 プレゼンテーション会場
(ポスター展示:大学・TLO ゾーン)

本年の「バイオインダストリー協会賞」「発酵と代謝研究奨励金」「化学素材研究開発振興財団記念基金「グラント」研究奨励金」の授与式と受賞講演が行われます。

受賞者は、バイオインダストリー協会 HP で公表されています。 <http://www.jba.or.jp>

JETRO BIOLINK FORUM 2009 クラスター・企業ネットワーキング



バイオジャパン会期中の 10/8 に、ヨコハマグランドインターコンチネンタルホテルにて、ジェトロ主催のネットワーキング(交流会)が開催されます。国内外のバイオクラスターがポスター展示を通して、それぞれの特徴や最新バイオ情報について紹介する中、バイオ関係者が一同に介して、交流会を行います。

昨年は、19ヶ国・地域、59のクラスターが出展、バイオ関係者約360名が参加しました。どなたでも無料で参加できるので、バイオジャパンと共に、ぜひ会場にお運びください。

<http://www.jetro.go.jp/events/seminar/20090518275-event>

登録無料

BioJapan 2009

World Business Forum

～バイोजパンの「ビジネスパートナーリングマッチングシステム」の利用について～

<https://exponet.nikkeibp.co.jp/match2009>

「バイोजパン」ホームページの左にあるメニューから入れます。

ポイント① : 「ビジネスパートナーリングマッチングシステム」とは？

バイोजパンでは展示会会期前から出展者同士のほか来場者などと Web 上で商談のアポイント申込みができる「ビジネスパートナーリングマッチングシステム」があります。会期当日には面談が成立した企業と「専用の商談コーナー」においてビジネスに直結する数多くの商談を行うことができます。

ポイント② : 昨年の商談事前アポイント件数は？

実際、昨年の会期中の面談数は 850 件超でしたが、そのうち「ビジネスパートナーリングマッチングシステム」を活用して事前に面談が成立した件数は 650 件にのぼっています。

ポイント③ : 「マッチングシステム」の活用メリットは？

通常、展示会では会場で名刺交換や情報交換をし、会期後に再度訪問やDM・メールなどの事後フォロー活動が重要となります。しかし会期中に関連する人達が沢山集まる場において事前に商談の予約を取り会期中に次々と商談を行う環境を自ら作り出すことで、企業としても時間やコスト、手間を省き成果を効率よく上げることにつながります。実際、出展者が会期後に各地方や海外に商談に訪問する時間や手間を考慮すると、会期前に無料で Web 上の面談システムでアポイントを取り、会期中に商談の成立もしくは成立に近い話をすることができるので非常に効率的です。特に海外のバイオ関係者が述べ人数で 4,000 人も来場していることもあり、海外企業とのグローバルな商談も数多く行われています。

ポイント④ : 今年度のバイोजパンでの新しい動き

製薬関連では例年、海外の製薬メーカーであるロシュやベーリンガーなどの出展の他に、今年は国内の製薬企業である武田薬品、第一三共、アステラス製薬といった企業も出展し、積極的にバイोजパンの場をアライアンスの場として活用する動きが活発化しています。

また、今年度のテーマとして「ファーマ」「グリーン環境バイオ」「食糧」「クラスター&ベンチャー」のテーマを掲げていることでも関連する出展者・来場者企業との面談の場として非常に期待できます。

ポイント⑤ : サイトの活用方法(誰もが簡単に登録し活用できます)

サイトの活用につきましては以下の図の STEP を踏んで行います。

「ビジネスパートナーリングマッチングサイト」のサイト上に登録されている企業（誰でも自由に無料で会社情報や、ビジネスのアライアンス希望などを掲載できます）と面談のアポイントを自由に取ることができます。先方希望により面談が不成立になる場合もございますが、数多くの企業にアプローチすることが重要です。出来る限り事前からサイトを活用し、ブースでのプレゼンとの相乗効果を上げるような活用を期待しております。

このサイトの使い方

STEP1

自分のプロフィール
を登録する

STEP2

アポイントの相手
を探す

STEP3

アポイントを
申し込む

STEP4

アポイントの日時
を確定させる